



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2021年7月12日

報道関係 各位

SDGs推進に向けて 学校法人酪農学園と包括連携協定を締結

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、学校法人酪農学園（所在地：江別市文京台 理事長：谷山 弘行）と協働で、SDGsの推進に向けた取組を開始いたします。つきましては、学校法人酪農学園様との「SDGs推進に向けた包括連携協定」調印式を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。

【協定調印式】

- 日 時：2021年7月16日(金曜日) 11時00分～
- 場 所：酪農学園大学 中央館 ホール・ロビー内（江別市文京台緑町582番地）
- 出席者：学校法人酪農学園 理事長 谷山 弘行 様
当社 代表取締役社長 佐々木 康行

具体的な協働の取組みとして、SDGsの推進に向けて以下の3点を中心に両者協働で進めてまいります。

- 1 「清涼飲料水の空容器における資源循環を目指す取組み」（学園内のPETボトル資源循環）
- 2 「災害時支援に関する取組み」（災害発生時の備蓄水の確保、災害対応型自動販売機による商品の無償提供、家畜用飲み水の提供）
- 3 「教育・研究に関する取組み」（家畜用飼料としての茶粕の有効活用に向けた研究）

これらの取組みによりSDGsを協働で推進するとともに、地域が抱える課題やニーズに対応した持続可能な社会の実現に向けて、連携と協力を続けていきます。

学校法人 酪農学園



Coca-Cola

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部

担当：及川 TEL：011-888-2091

【参考】

■ 清涼飲料水の空容器における資源循環を目指す取り組み

酪農学園の敷地内で発生したPETボトルの空容器を100%回収し、リサイクル処理して、再び飲料の容器として再利用する「ボトル to ボトル」による資源循環の実現を目指します。また、学園内に設置された自動販売機ではPETボトル製品のみを販売し、PETボトル製品を国内水平リサイクルする事で持続可能な環境負荷低減につなげます。その他缶製品のリサイクルにも取り組む他、回収ステーションや分別BOXでリサイクルの啓蒙を図ります。



■ 災害支援に関する取り組み

酪農学園は災害発生時の飲用水として、当社が販売した備蓄水や、当社の在庫とした備蓄水を倉庫保管します。これら備蓄水は自動販売機での販売や、学園内の会議用の飲料水として使うローリングストックを活用することで賞味期限切れによる食品ロスを軽減し、効率的な管理を実現します。また災害発生時には、構内に設置してある16台の災害対応型自動販売機内から在庫商品を無償で提供します。その他、災害発生により、酪農学園内で飼育されている家畜の飲み水が不足した場合には、当社が必要な飲み水を確保し、運搬・供給します。



■ 教育・研究に関する取り組み

酪農学園は企業が食品製造の際に出る食品残渣を利用して作る家畜用飼料の開発に取り組み、循環型社会の形成に寄与するエコフィードの開発研究を推進しており、当社はお茶製品を製造する際に発生する茶粕を酪農学園へ提供します。

